



# 米国株 MARKET PICK UP



## 先週の米国株式市場—トランプラリー—続き主要指数が史上最高値を更新—

	前週終値	11月21日	11月22日	11月23日	11月24日	11月25日	週間騰落幅	週間騰落率		
ダウ平均	18,867.93	18,956.69	19,023.87	19,083.18	休場	19,152.14	+284.21	+1.51%		
騰落幅		+88.76	+67.18	+59.31		+68.96				
S&P500	2,181.90	2,198.18	2,202.94	2,204.72		2,213.35			+31.45	+1.44%
騰落幅		+16.28	+4.76	+1.78		+8.63				
ナスダック総合指数	5,321.51	5,368.86	5,386.35	5,380.68		5,398.92			+77.41	+1.45%
騰落幅		+47.35	+17.49	-5.67	+18.24					

### ＜先週の概況＞

先週の米国市場はトランプ次期大統領の経済政策への期待感から連日上昇し、ダウ平均は4営業日連続で史上最高値を更新しました。S&P500やナスダック総合指数もそれぞれ史上最高値を更新しました。

ダウ平均はほとんど押す場面なく週間で300ドル近く上昇と、足元の市場の強気なセンチメントを示す1週間となりました。

NYダウ平均とナスダック総合指数の推移



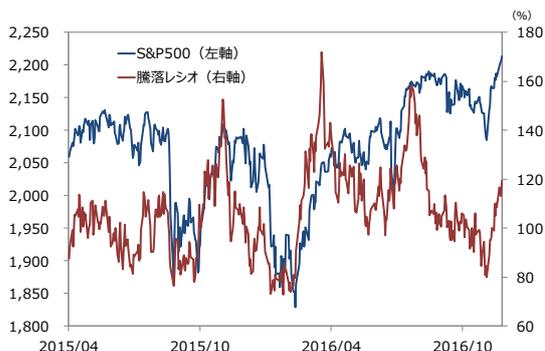
(出所) Bloombergのデータをもとにマネックス証券作成

## 米国株式市場バリュエーション

指数	予想PER (倍)	PBR (倍)	予想配当利回り
ダウ平均	17.5	3.2	2.5%
S&P500	18.6	2.9	2.1%
ナスダック総合指数	22.5	3.6	1.2%

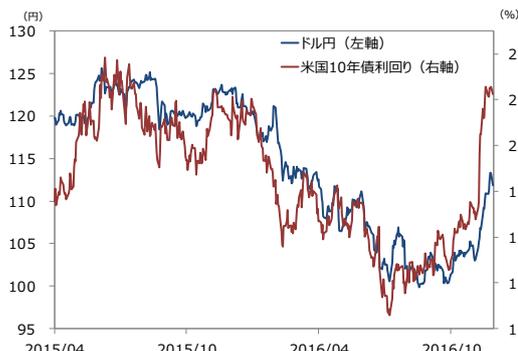
(出所) Bloombergのデータをもとにマネックス証券作成 (2016年11月25日時点)

S&P500と騰落レシオの推移



(出所) Bloombergのデータをもとにマネックス証券作成

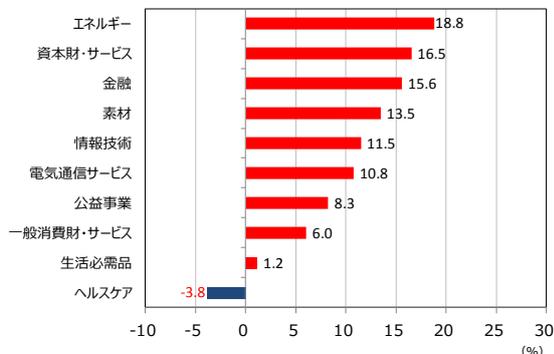
ドル円と米国長期金利の推移



(出所) Bloombergのデータをもとにマネックス証券作成

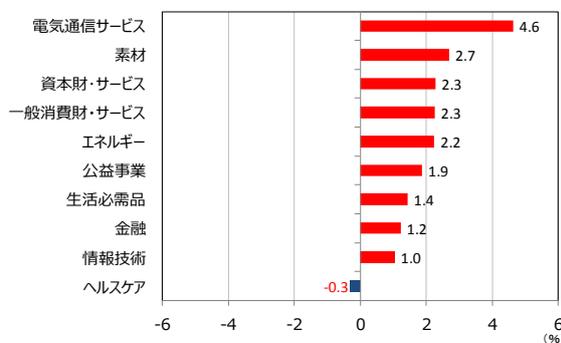
## 業種別リターン

S&P500 業種別年初来リターン



(出所) Bloombergのデータをもとにマネックス証券作成

S&P500 業種別週間リターン



(出所) Bloombergのデータをもとにマネックス証券作成

## ダウ平均採用銘柄 週間騰落率ランキング

値上がり率ランキング (11/21-11/25)

ティッカー	銘柄名	週間騰落率 (%)
VCZ	ベライゾン・コミュニケーションズ	5.4
WMT	ウォルマート・ストアーズ	3.9
CAT	キャタピラー	3.8
DD	イー・アイ・デュポン・ノートウェア・グループ	3.1
AXP	アメリカン・エキスプレス	2.6
HD	ホーム・デポ	2.5
BA	ボーイング	2.5
GE	ゼネラル・エレクトリック	2.5
UNH	ユニテッドヘルスグループ	2.2
XOM	エクソンモービル	2.2

(出所) Bloombergのデータをもとにマネックス証券作成

値下がり率ランキング (11/21-11/25)

ティッカー	銘柄名	週間騰落率 (%)
JNJ	ジョンソン・エンド・ジョンソン	-1.1
V	ビザ	-0.9
CSCO	シスコシステムズ	-0.3

(出所) Bloombergのデータをもとにマネックス証券作成

### <上昇>

ダウ平均を構成する30銘柄のうち27銘柄が上昇しました。ベライゾン・コミュニケーションズ (VZ) が5%を超える大幅上昇となりました。年末商戦を前に期待が高まりウォルマート・ストアーズ (WMT) も4%近く上昇しました。

### <下落>

ジョンソン・エンド・ジョンソン (JNJ)、ビザ (V)、シスコシステムズ (CSCO) の3社が小幅に下がっています。

## 先週発表された主な経済指標

### FOMC 議事要旨

23日に発表された11月に開催された連邦公開市場委員会（FOMC）の議事要旨では、多くのメンバーが12月利上げを支持していることが明らかとなりました。ただ、イエレンFRB議長が先立って行われた議会証言で12月利上げを示唆していたこともあり、サプライズのある内容ではありませんでした。

今週発表される重要経済指標や市場動向に大きな波乱がなければ12月の13日から14日にかけて行われるFOMCで利上げが実施される可能性は非常に高そうです。

## 今後発表される主な経済指標

### 11月雇用統計

非農業部門雇用者数 市場予想 +17.5万人 前月 +16.1万人  
 失業率 市場予想 4.9% 前月 4.9%

12月2日に11月分の雇用統計が発表されます。利上げ決定可能性が高いとみられる12月のFOMC前最後の雇用統計ということで、その内容に注目が集まります。非農業部門雇用者数は前月比17.5万人増と堅調な内容が予想されています。



(出所)トムソン・ロイターデータよりマネックス証券作成

## マーケットビューー引き続き調整に警戒ー

先週の米国市場は引き続きトランプ氏の政策への期待が強く、ダウ平均は連日で史上最高値を更新しました。先週のマーケットビューーではPERの割高感や今後ドル高により製造業の業績にブレーキがかかる可能性を指摘しましたが、現在のマーケットはそういったネガティブな材料を無視しているかのようです。

PERから見て割高な状態は変わっておらず、ドル高も進んでいることから引き続き見方は変えておらず、買い向かう局面ではないと考えています。

フィナンシャル・インテリジェンス部 益嶋 裕

当社は、本書の内容につき、その正確性や完全性について意見を表明し、また保証するものではありません。記載した情報、予想及び判断は有価証券の購入、売却、デリバティブ取引、その他の取引を推奨し、勧誘するものではありません。過去の実績や予想・意見は、将来の結果を保証するものではありません。提供する情報等は作成時現在のものであり、今後予告なしに変更又は削除されることがございます。当社は本書の内容に依拠してお客様が取った行動の結果に対し責任を負うものではありません。投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断と責任でなさるようお願いいたします。本書の内容に関する一切の権利は当社にありますので、当社の事前の書面による了解なしに転用・複製・配布することはできません。内容に関するご質問・ご照会等にはお応え致しかねますので、あらかじめご容赦ください。

マネックス証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第165号  
 加入協会: 日本証券業協会、一般社団法人 金融先物取引業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会